

## 第2回eモニターアンケート「困難を抱える若者の支援について」

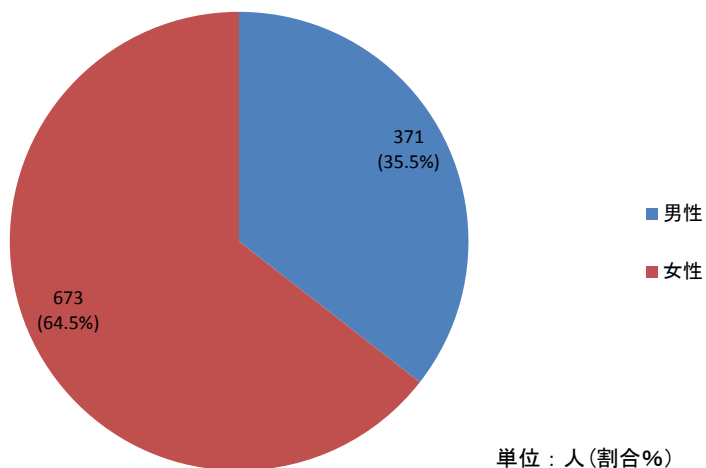
実施期間  
回答数

平成30年7月19日  
1044 人

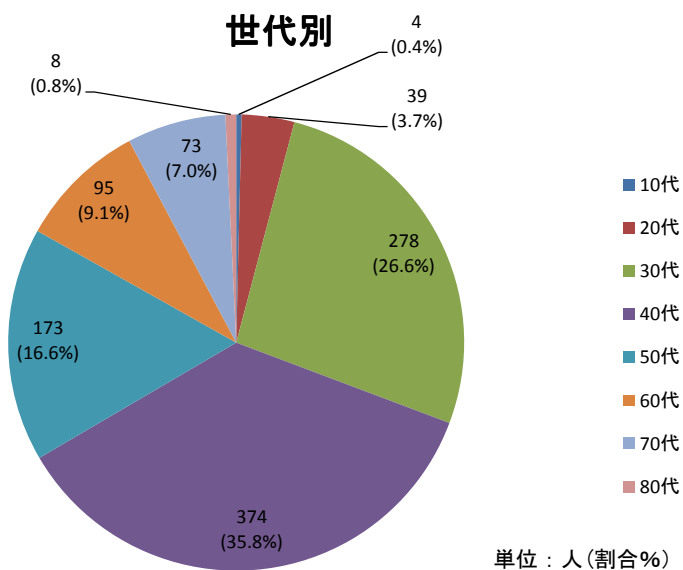
～

平成30年7月26日

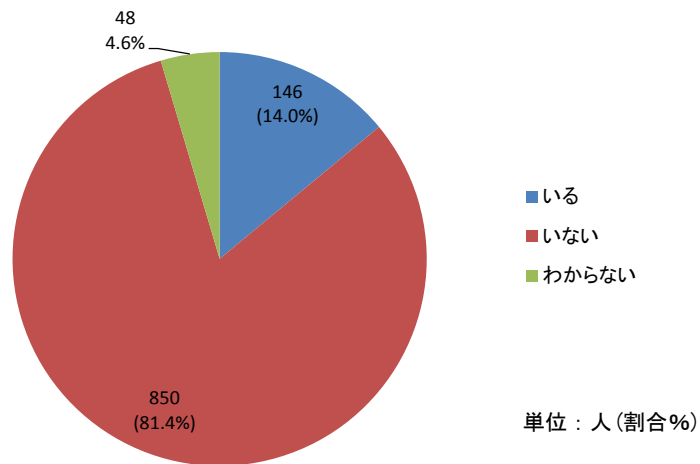
### 性別



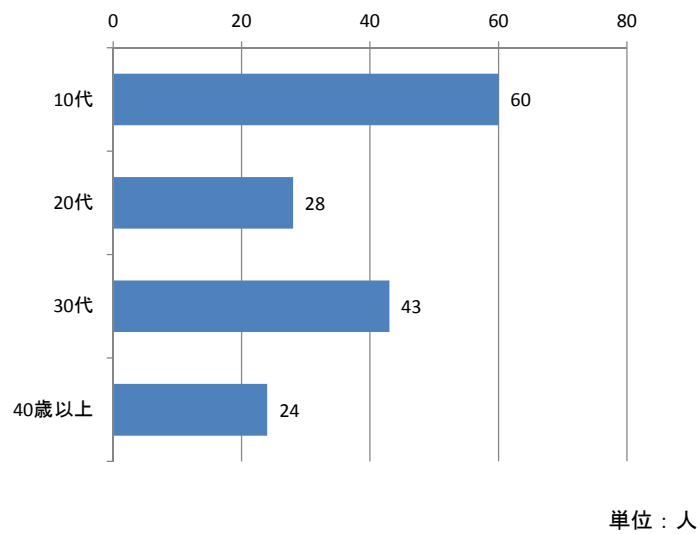
### 世代別



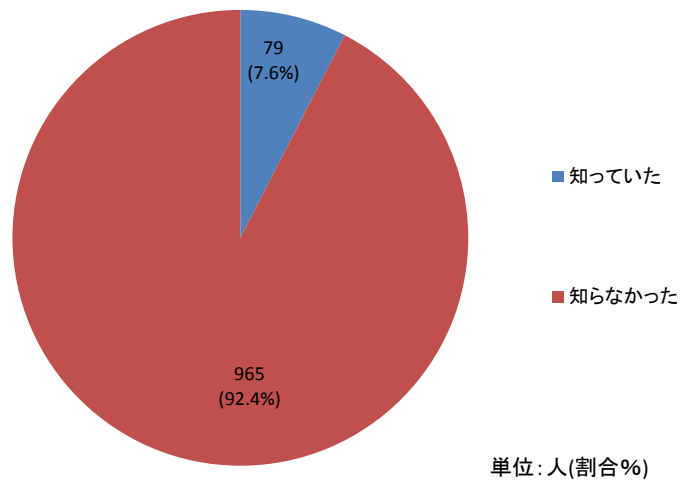
問1: あなたの家族や身近に、ひきこもり、不登校、ニートの若者はいますか。



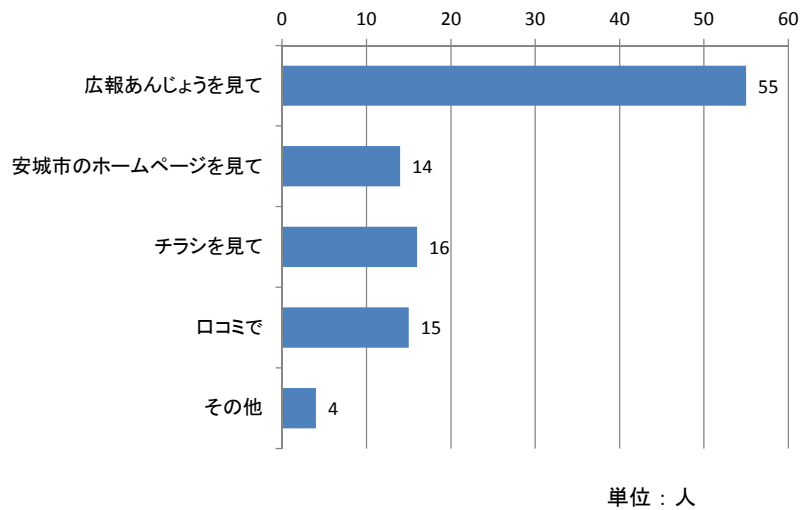
問2: その人は何歳くらいですか。(問1で「いる」と回答した人。複数回答可)



**問3: 青少年の家で、困難を抱える若者の相談事業を始めたことについて知っていますか。**



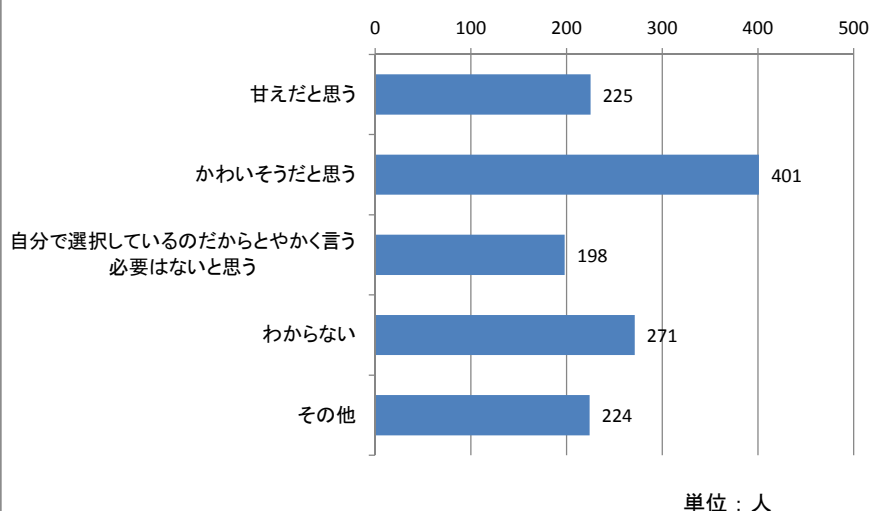
**問4: どのようにして相談事業を知りましたか。(問3で「知っていた」と回答した人。複数回答可)**



**その他と回答した人の意見（抜粋）**

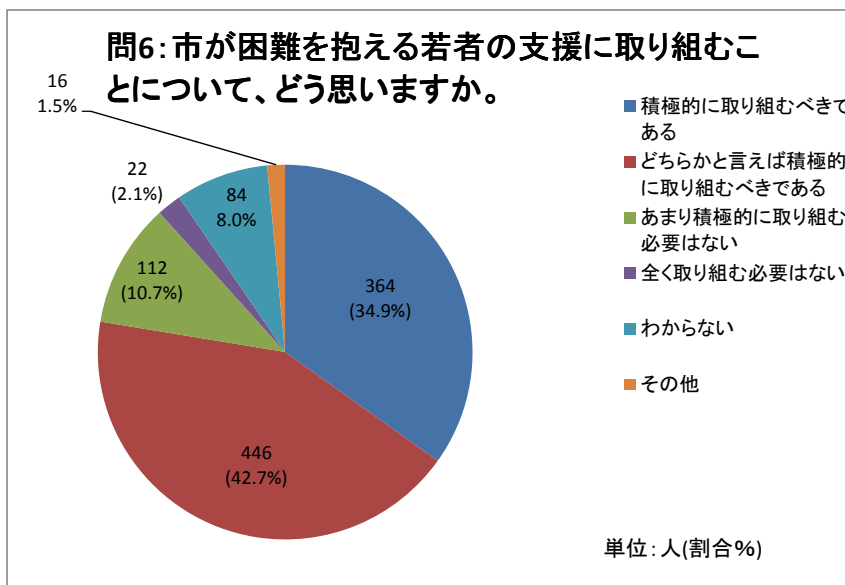
- ・ボランティア活動を通じて
- ・小学校PTA
- ・民生委員協議会で。

**問5:不登校・若者の引きこもりについて、どう思いますか。(複数回答可)**



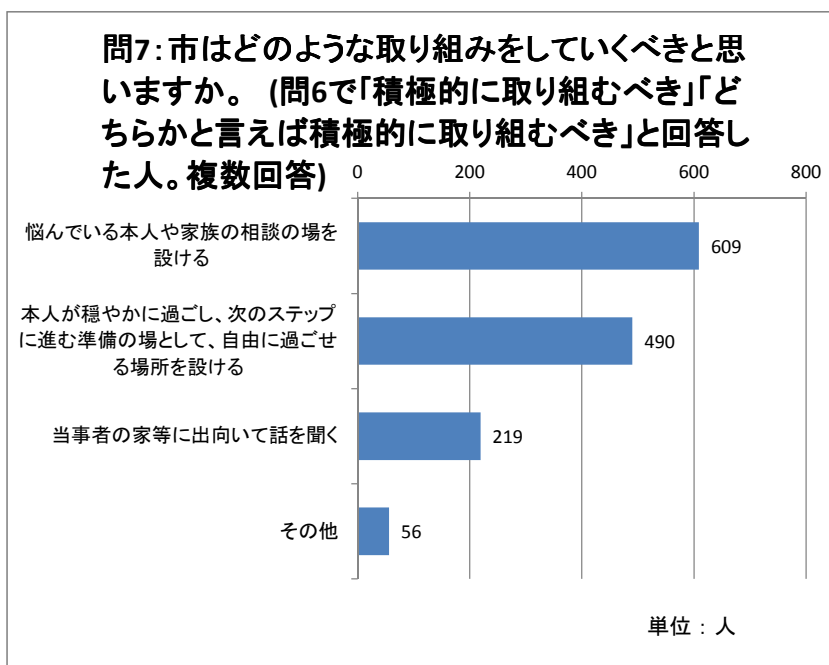
**その他と回答した人の意見（抜粋）**

- ・一律になんとかすべきというものでもないが、困っている状態なら手助けできる仕組みは必要と思います。
- ・不登校になる理由が必ずあるので、それに大人も学校も真摯に向き合うべきだと思います。
- ・それなりの理由があり、どうしようもない状況や本人のちからでは解決できないことがあるように思われる。
- ・本人が学校や家以外に居場所ができてほしい
- ・個性を尊重する社会になるふりをして依然として価値観の多様性を認めない社会が悪い。個性を伸ばす、と呪文を唱えるだけで具体的な施策が展開されていない。義務教育の見直し、生きている証の生活保障、が制度化されてない。働かざる者食うべからず、でしょうか。
- ・様々な方策があることを示してあげたい。
- ・長期に渡り継続している引きこもりで、定職につかず、中高年までいってしまうことが個人的にも社会的にも損失、問題である。
- ・居心地良い居場所が自宅なら、それは良いと思う。居心地良い居場所がなくて苦しんでいる方には、何かきつかけをつくってあげたいと思う。
- ・引きこもりになった理由ははっきりしないと聞いたので原因究明と対策は社会問題だと思います
- ・ゆっくりと見守ることが大切。かつては、息子もそういう時があったから。
- ・誰でも引きこもりになりたくてなるわけではなく、そのようにならざるをえなかった背景があると思う。なので引きこもりに対して否定的には思わないし、何か良い改善策があればと思います。
- ・事情や思いを出来るだけ知りたい
- ・話を聞いてあげるべき。
- ・身内だけでは解決するのは、時間がかかると思うので、10代の時間はとても大切だからプロが関わっていったらいいのに賛成です
- ・何か手を差し伸べられることがあればと思う。
- ・他人事ではないと思う
- ・まずは本人の気持ちを理解してあげることが大切である。
- ・その方の気持ちにならないとわかってあげられないところは難しい
- ・生きていく上では外に出て人と関わることは必要不可欠なのでいつか解決出来ればいいなと思う
- ・経済的に自立できるように教育して導いてあげたい
- ・社会復帰がしやすい受け皿づくりは必要だと思う
- ・自分自身も昔引きこもりに近い状態だった時期があり他人事ではない
- ・社会と関わるきっかけが今までなかっただけだと思う。
- ・本人も家族も大変だと思う、相談できる場所がもっと増えたらと思う。
- ・少しでも気持ちが分かればいいかなって思います
- ・もし自分の子供がそうなった時、きっとどうしていいのかわからなくて不安になると思う。
- ・将来、大きな問題になるのではないかと心配しています。
- ・親が動かなくなったり、亡くなってしまった後が心配
- ・イジメや頑張りすぎてその状態になる事もあるため、それぞれの事情の理解が必要だと思います
- ・本人の考えを直接聞いたことがない。きっかけになればいいのでは・・・
- ・以前と比較し社会の希薄さが深刻になってると思います。
- ・昔はなかったのは、豊かになったからでしょうか。親御さんは対応に苦慮してみえるのでは…などと思ってしまう。
- ・困難を抱えた若者を生み出してしまう社会にも問題があると思う
- ・助けを求めて欲しい



**その他と回答した人の意見（抜粋）**

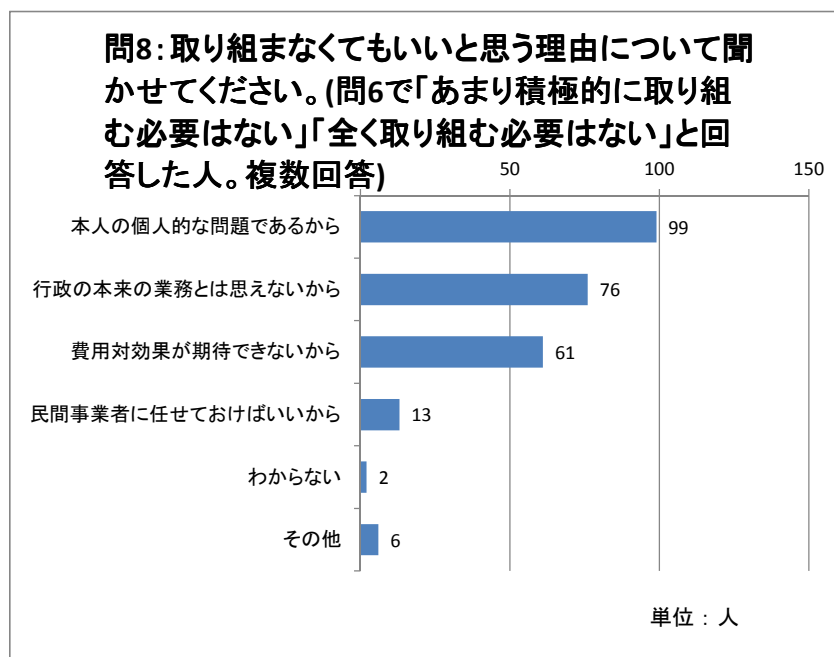
- ・本当に辛いなら助けてあげたいけど、わがままで行かないのなら必要ないと思います。指導員の方の定期的な訪問など人的フォローなら賛成 金銭的な支援は反対
- ・市が、市長が『こうしたい』という青写真を描いてから『どう思いますか?』と聴くべき。
- ・支援を必要とする人もいれば、必要でない人もいると思うから必要な人には積極的に取り組んで欲しい。
- ・民間のカウンセラーなど協力して行なってほしい
- ・専門家に相談できる場を提供することが大切
- ・市が簡単に取り組める問題ではないのでは。専門家もいないだろうし、担当者は困惑するだけ
- ・人数の割合だと思う、人数が多いのであれば取り組むべきだし、少ないのであれば他の市と協力して取り組めばそこにかかる人員や費用は少なく済むであろうし、他の地域のいい試みや考えも学べる気がするし当の本人たちも閉塞感がなくなるのでは
- ・本人や家族が望めば、必要な事を、支援する程度で良いのではないかと思います
- ・本当に困難な状態の人を支援するのは賛成だけど、そうでない場合はちょっと考えるものがあります。
- ・他人に迷惑が掛からないうちは、その家族が取り組むか、その家族が助けを求めないうちはべき他人が口を出すべきではないと思う。



**その他と回答した人の意見（抜粋）**

- ・ひきこもりから抜けられた事例などの情報を提供
- ・形のためのカウンセリングでなく、親身になって取り組む必要あり
- ・本人にアクションを起こしてもらうことはまず無理だと思った方がいいです。家族の心のケアや、家族が本人に対してどのように接していけばいいかをサポートしてほしい。
- ・引きこもりの子たちがまずは学校に行けるような取り組み。長期的に引きこもりにならないように。しかし、長期引きこもりになってしまったときは、同様の子が社会と断絶しない関わりが必要。またどのような道があるか、多数道があるといい。

- ・原因を調べ又は現状をよく調べ一人一人に合った対策を
- ・親に食育を通して、精神のバランスをよくすることの大切さを伝える場を作る
- ・対応する側にも経験、知識が必要となる。
- ・どう対策すべきかわからないが、一人一人が立ち直るべく取り組んで欲しい。
- ・家族に限定せず、親類でも相談できるようにして欲しい。親も心が病んでいる場合もあるため。
- ・原因を探る。家族のフォロー、バックアップ。解決するのは本人と家族。
- ・ケース毎に全て試すべき 保護者に問題があることも充分に考慮して
- ・なぜそうなっているのかを分析した情報を得ることで、これから成長していく若者の教育に反映させる
- ・導きが必要な人もいると思う。
- ・当事者たちが出会って話せるコミュニティを作る
- ・望んでいる人には家庭訪問もあっていいと思う。積極的に相談することを 肯定しているとアピールすることが必要だと思う。
- ・同じような境遇の若者同士で合宿をし本音を打ち明ける場・機会を設ける。(またはそういった活動をしている団体の情報を集め提供する
- ・どのように学習できるのか、その方法を示してあげるなど
- ・引きこもり、というキーワードで何か開けた場所を提供しても難しいと思う。親も子もその事実を受け入れにくいと思うので。とはいえ、学校以外で学べる場所、過ごせる場所があるのはすごく良いと思います。
- ・カウンセラーや医療機関を紹介し、本来あるべき状態に導く。
- ・就労サポート
- ・引きこもりなど介入が必要と思われる人を把握しておく
- ・本人と話をしてほしいが、出かけていくことはないと思うので家まで来てほしい
- ・次のステップとは何か、どんな可能性が広がっているのか、を示す事が出来れば尚良いと思います。
- ・大学等と連携し、フリースクールのような取り組みをする
- ・心理士等、適した人の支援が受けられるといいと思います
- ・高齢者でもこのような事実に向向きに相談員としてできる方が市内には多数いるのではないのでしょうか？特に大企業で従業員の悩み相談員などを経験させた方が居ると思います。パートでも良いので募集してはどうでしょうか？
- ・同じことに悩んでいる家族を繋げる場をつくる
- ・学校の授業で年に数回、完全黙秘で教師も他の学生もいない状況でアンケートを行うべき
- ・本人も家族も他人にあまり知られたくない場合があると考えますので、うまく相談に乗ってあげること、あきらめずに粘り強く優しく接することが重要です。
- ・話を聞く、どうしたいか考える、考えさせる、行動に移せる場を与える。全て必要だと思う。
- ・学校での聞き取り。
- ・SNS等で相談しやすい環境を作る
- ・長期間支援してくれる専門的な機関を作る



#### その他と回答した人の意見（抜粋）

- ・本人の意思の場合である場合には、援助は不要であるし、効果は無い
- ・その家族で解決すべきで、相談があったときの相談窓口ぐらいは必要かと思う。
- ・精神障害であれば、専門家に任せた方が、良い結果がえられるから。
- ・第三者、それも行政機関に心を開いてくれていい方向へ向かうとは考えにくい
- ・自由だと思っから
- ・関わりすぎて安城市が訴えられ、敗訴して多額の賠償金を取られるくらいなら、関わらない方が、市民全体のためである。

|                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>問9: 困難を抱える若者の支援について、ご意見等がありましたらご記入ください。(抜粋)</b>                                                                                                                                                           |
| 引きこもりになってからでは遅いので、一歩手前で周囲が気づくこと、親身に相談にのってくれる場所を提供してほしい。                                                                                                                                                      |
| 小学校の頃から 専任の担当者(学校内)において 相談を促すなど早めの対応を プライバシーなど立ち入れない難しい状況もあるでしょうが、その解決も含めたシステムができれば、担任のみでは対応できないので人員の整備も合わせて進めば。                                                                                             |
| 現在、困っていない一般市民にも対応方法を公開すべきと思う。いつ自分がそのような立場(見守る側)になるかわからないので。                                                                                                                                                  |
| 「困難」って生きる上で必ず起きますよね。その度に、支援していたらキリがないと思います。むしろ、ひきこもりやニートの親の指導を行うべき。何かしら育て方が間違ってるから、この事態を招いていると思う。                                                                                                            |
| 回りの目が有るから言い出せず抱え込んでしまうことのないよう、健康なときから定期的に知り合いに誰にも会わない環境でカウンセリングを行うべき                                                                                                                                         |
| ほとんどの親は自分の子は大丈夫だと思っていますし、実際に子どもがそうなった時にどう対応すれば良いのか知らないと思います。自分にも起こる可能性があることや、もしそうなった時にどう対応すればいいのか、親だけでなく子どもにも教えていくことが大切だと思います。                                                                               |
| まずは、ひきこもりの若者を抱えて悩んでいる家族の話を書く場所が必要だと思う。メールなどで状況を報告できるようなものを提供できれば、よいきっかけになるのではないかな。ひきこもり本人にもそんな悩みを打ち明ける場があるといいと思う。                                                                                            |
| また、経験者の話を聞けるような場が設けられるといいと思う。現代は、SNSなどを使って、ひきこもっても外をつながる方法はあるが、最終的には生身の人間と付き合い、社会復帰できるよう手助けができるとうい。                                                                                                          |
| 不登校・ひきこもりの子どもを持つ家族は 先の見えないトンネルの中にいるようなものなので 話を聞いてくれる場があるだけで 安心感が得られると思います。                                                                                                                                   |
| 同じように困難を抱える若者の家族同士が交流できる機会があればいいのかなと思います。                                                                                                                                                                    |
| 困っていることを隠す家族が多い気がする。<br>恥ずかしい、人に相談しても仕方ない、など抱え込み、家族全員が暗い気持ちで過ごすことも多いと感じる。                                                                                                                                    |
| 市としては、親のストレス解消の場として話を聞いたり、希望する状況を支援するくらいしかないのではないかなと思う。10年単位の支援が必要なので、急がないことが大切。                                                                                                                             |
| 全てではないにせよ、幼少期から原因はあるのではないかなとも考えます。幼稚園、小学校など小さいころから同じ方向に向かなくてもいいという肯定的な方向付けも必要ではないかなと考えます。勉強に向かないのに、名前だけのために大学に進学する傾向などの本人にとっても社会にとっても無駄なことを強いるよりも、中学卒業でも職人や他の道で立派に生活できることをもっと学校でも肯定的に教えて選択肢を増やしてあげてほしいと思います。 |
| どこに尋ねたり相談したりしたらいいのかわからない人のための広報活動が必要だと感じます。                                                                                                                                                                  |
| 心を開ける場所や、話を聞いて、共感してくれる支援をしてくれるといいと思います。                                                                                                                                                                      |
| 苦しみは本人しか分からないので、アドバイスと言うより、話を聞いてくれる人が必要な気がします。                                                                                                                                                               |
| 同じ様な境遇を持つ子や、親同士が話し合えたりする場や、ストレスなく遊び感覚でふらっと訪れる事ができる憩いの場があれば、また復帰しようという自信にもつながるかなと思います。                                                                                                                        |
| ただ時間つぶしの場でだけでなく、その人の存在価値が見出せたり、人の役に立てたりという場があるといいと思う。                                                                                                                                                        |
| 本人はもとより家族も地域の中で孤立させないこと、同じ悩みを語り合える場があることが肝要だと思います。                                                                                                                                                           |
| シルバー人材を活用してフリースクールを設置してはどうか。                                                                                                                                                                                 |
| 若者たちに向けて、多種の講話、映画鑑賞を通じて、多様な考え方や生き方があることを再認識してもらう機会をつくってはどうか。                                                                                                                                                 |
| 適切な職業につけなかったり、自己実現できなかったりして悩んでいる20～30代は多いので、キャリアを高められるような機会や企業とのマッチングの機会をたくさん作ってほしい。                                                                                                                         |
| 若者の心をつかむにはをテーマに講習会or講演会を開き、広く協力者を募る必要があると思うます。無知な状態で向き合うとより心を閉鎖するのでは…。                                                                                                                                       |
| 早く社会参加できる環境作りを専門家の説明会などを開催して頂きたいですね。                                                                                                                                                                         |
| 色々な背景で困難を抱える若者が増えているのだと思うので、今までの価値観ではなく多様性を認める環境を作ることが重要ではないかなと考える。皆が集まるショッピングセンターなどで、認知症のオレンジカフェのような事を行い、当事者、また困難を抱える若者の事を知らない人への理解活動なども有効なのは。                                                              |
| 不登校・引きこもりに対する周囲の偏見や誤解を解き、少しでも理解できるように出来れば、本人や家族の気持ちも少しは楽になるではないかなと思う。                                                                                                                                        |
| 他人がとやかく言っても本人がやる気がなければ意味がない。どうにかしたいが、やり方がわからないのであれば、助ける価値がある。                                                                                                                                                |

|                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 私自身も引きこもりやニートな時期を過ごしたことがあります。その時に安城市内に引きこもりなどの人々が行ける支援施設やニートの人が社会復帰するための就業訓練施設や支援施設があるといいのに…ととても思っていました。                                                                               |
| 難しい問題で、すぐに答えられないですが、市が親身になってくれると当事者としては頼もしいのではないのでしょうか。また、いじめ等により、不登校となった場合は、越境入学やそういったことを簡易に出来るようにしてあげるといいのではと思います。                                                                   |
| 私は今、発達障害の方を作業所に送迎する運転手をしていますが、たまに心を開いて話をしてくれるメンバーの何人かは家族が自分のことを理解してくれないのが一番つらいと言います。担当の職員さんくじけずに頑張ってください                                                                               |
| 彼等が希望を持って働けるようになれば安城市にとってもプラスになると思うので支援は決してむだにはならないと思います。                                                                                                                              |
| 高齢者や専業主婦などでも引きこもりや引きこりに近い状態の方もいると思うので、若者だけでなく支援をしてほしいと思う。                                                                                                                              |
| 悩みを抱えている方たちは、精神的に不安定であると思うので、成果を急がず寄り添うような姿勢で徐々に自立心を向上させることが重要だと思います。                                                                                                                  |
| 引きこもっている方が、仕事を探す行動に出る事が出来た時に、スムーズに仕事を検索したら相談したりできる仕組みがある事は(ハローワーク)、とても大事だと感じました。                                                                                                       |
| 本人は帰りたい、戻りたいと考えているがまわりがそうさせてくれずいることは多くある。戻ることが怖いのであれば、戻らなくても違う場所で支えてあげればよいと思う。無理して戻ることより、人間性を尊重してあげられるところがあるのは非常に大切なことだと考えます。                                                          |
| 打開策を家族も見つけられず、市として関わる場を作るのは有りだと思う。デリケートな話題のため、市民参加というより匿名で市の活動に参画できる方法を考え、段階を踏んで徐々に表舞台に顔を出させるのができると良い。少しのきっかけでいくらか変わる可能性もあり、モデルができれば近隣市、県に展開も全体活動につながると考える                             |
| 労働力の低下は生産性の低下で、市の活性化によくないので、難しい問題だが、社会問題なので、市民行政両方に良い対策を検討し、対応して欲しい。                                                                                                                   |
| 家族が引きこもり状態であるが本人に社会復帰意思がなく難しい状況です。これからもっと若者が社会、現実に向き合える機会を設けて貰えると助かります。                                                                                                                |
| 支援をしているというだけで、実際解決できないような、形だけのものでは、税金の無駄使いでしかない。学校に行くことだけでなく、学校に行くのが難しいのであれば、みんなでボランティアに行くなど、色々な方法で手を差し伸べることが出来ればよいと思う                                                                 |
| 行政は解決するというのではなく、如何に上手に支援できるかを考えて欲しいです。行政があげる成果ではなくて、当事者が立ち直るという結果が大事だと思う                                                                                                               |
| 支援と並行してなぜそうなったのかを分析し再発防止を行って頂きたい。                                                                                                                                                      |
| 学校現場でも、不登校への支援が厚くなってきていると感じる。しかし、義務教育後の支援がまだ少ないと感じる。                                                                                                                                   |
| 人間関係が問題だと思うので人と接しにくいすむ就業機会などが必要だと思う                                                                                                                                                    |
| 当事者には納得できない事情や言い分・言い訳がある事とは存じますが、基本的に自己中心的で甘い判断を優先して、ただ漫然と日を過ごされている方が大多数ではないのでしょうか？ 従って、相談所に容易には来訪して頂けないと存じます                                                                          |
| 依って、当事者の家に出向き、何度も本人や家族とよく話し合い「次のステップに進める様」積極的な取り組みが必要かと存じます。この際、各地区の民生委員の皆様にご格別のお骨折りをお願いして、対象者のリスト作成や本人宅への訪問時の同行・・・等の、ご協力をお願いしては如何でしょうか。                                               |
| 義務教育の不登校については、通信教育のような自宅学習教材や月1-2回程度の実習(保護者同伴可)などでカウンセリングしながら支援していくのはどうか。義務教育以上の若者については、今後18歳が成人とされるので自ら(保護者含む)アクションを起こして来た場合支援したらよいと思う。まずは、義務教育のうちに手厚く支援して、次のステップへ送る出してあげることが先決ではないか。 |
| 働くことに対して不安があると思うので、それを解消もしくは軽減できる機会をふやすべきである。                                                                                                                                          |
| 発達障害や、対人恐怖症など色々な人がいます。大人になってから発達障害がわかったと本人が一番苦しみます。専門の先生は、少なく難しいとは思いますが市も手助けをすべきだと思います。全ての人が手帳があるわけではなく苦しんでいます。働き方改革が必要だと思います。                                                         |
| 社会で自立して生活することで自信もつき、自暴自棄になるようなことが防げるならば、積極的な支援をすべきだと思います。                                                                                                                              |
| 何かしらの手助けがあったら働ける(そのうち納税できる)見込みがあるのであれば、支援しても良いかと。支援にかけた費用と、それで何人が社会復帰したとかの費用対効果を示して欲しい。                                                                                                |
| 困難を抱える若者の中には 有能な人材もいます。人財発掘を積極的に行ってください。                                                                                                                                               |
| 人とのコミュニケーションを苦手と感じている方が多いと思います。専門的知識のある方の力を借りて、場を設けてあげることが必要だと思います。                                                                                                                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>本人や家族の意見や印象はさて置き、精神を病んでいると思うので、医療的な配慮が必要と思う。知識を持った職員を充てるよりは、高度な専門的知識を有する有能な精神科医を擁して対応することで解決に向かえると思う。環境が与える総合的な医療問題と捉え、精神科医の意見を中心に据えて、個々の事例で発症に向かうにいたった家庭や学校、職場などのあらゆる環境条件に改善を提言・実施する職種横断的ワーキンググループを作り、持続的に支援することにはしたいが。小手先の対応ではそれぞれ異なる原因や問題について真の解決へは向かわないと思う。</p> |
| <p>困難を抱える若者を支援するには、「相談の場」「次のステップへ準備する場」などのしくみ、ハードだけではなく、これらの場で支援活動する「人の育成」がキーポイントになると思います。この分野での優れた先駆者を探して、専任職員の育成に力をいれるべきだと思います。</p>                                                                                                                                  |
| <p>本人が育った家庭環境が大切であり両親の育った環境まで目を向け、表面的な面だけでなく育った社会的背景も考えて真相を探り解決策を考えるべきである</p>                                                                                                                                                                                          |
| <p>個人の問題や周囲の環境等、ニート等になる原因は様々であると思うので、それぞれの原因を究明し、行政としてサポートできることがあれば、積極的にやるべきと思います。今後は少子高齢化が益々進むので、ニート等の問題は深刻に考えないといけないと思います。</p>                                                                                                                                       |
| <p>経済的な原因での不登校については、支援も必要かと思います。横着とか不精での引きこもりなどには、将来について等の教育とか説得が必要かと思います。将来、犯罪者などにさせないためにも。人権侵害に至らない範囲で、積極的に相談に乗って欲しい。</p>                                                                                                                                            |
| <p>長い年月をかけて、本人だけでなく家族も凝り固まってしまうがちです。<br/>第三者の助け、現状打破するための外部からの刺激が必要だと思います。</p>                                                                                                                                                                                         |
| <p>一緒に住んでいる人の問題もあると思うのでカウンセラーが出向いてほしいです。</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>学校などに相談しても、マニュアルの様にスクールカウンセラーを紹介されるだけで、実際スクールカウンセラーを予約しようと思っても空気が無いくらいパンパンだったりしてなかなか相談にまで至る事が出来ないケースもある。引きこもりの原因は千差万別だとは思いますが、そうってしまった子達の居場所が無い、あったとしても知られていないのは問題だと思う。</p>                                                                                         |
| <p>就労継続支援施設などの就労規則をもっと柔軟に対応してほしいです。毎日出勤が規則とか出来たら苦労はしないと思う。体調に合わせて対応してほしいと思う。必要とされる事で希望がもてると思います。</p>                                                                                                                                                                   |
| <p>引きこもりが長引けば長引くほど、社会復帰が難しいイメージがあるので、小中高の登校拒否の子がいるなら、学校と連携をとって学校と家庭以外の居場所を作ってあげるべき。<br/>成人以降の引きこもりは、ご家族や本人が相談に来なくちゃ実態が把握できないから難しいが、どこに相談すべきか迷われていると思うので、相談窓口がある事を宣伝してなくちゃいけないと思う</p>                                                                                   |
| <p>親の対処の仕方に問題がある場合も考えられるので、行政と市民団体等が協力して、社会に少しずつ関わっていけるよう支援すべき。個人個人に合ったボランティア活動などを経験させながら、最終目標は就職して経済的に自立できるようにすること。社会的な居場所を見つけられた方が幸せだと思います。引きこもっているのは、もったいないです。</p>                                                                                                  |
| <p>貧困、障害又は家庭環境などによるものであれば、窓口の担当部署だけではなく、関連する部署全体で取り組む問題であると思います。</p>                                                                                                                                                                                                   |
| <p>引きこもりとなる原因は複雑のようです。また、幼児期から思春期での家庭事情、精神的な要因が複合的に絡んでいる現代社会の側面でもある。最近では発達障害児の増加に伴いこうした引きこもり現象も一つの側面と言われています。最近アンステップ開園も青少年の家での相談窓口と連携し、情報の集約と教育現場、医療現場とのネットワークが構築され、安心して住みよい安城市となるよう願っています。<br/>また、こうしたアンケートの検証結果の開示と行政としての取り組みの具体策を望んでいます。結果の後の具体的な展開を市民は望んでいます。</p> |
| <p>支援の場に限らず学校、家庭も連携して情報共有していかないと逆効果になる場合もある。教師、親への教育もしていかないと、対応を誤ってしまう場合がある。<br/>学校だけが全てではない、ほかに居場所はあるという事を気づいてもらうためにいろんな場を提供する。それで自分が輝けるものを見つけて、気がそこへ集中する事で学校への恐怖が薄れていく、または自信をつけられるきっかけになる。</p>                                                                       |
| <p>行政ばかりでなく地域の見守り及び支援も必要</p>                                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>困難を抱える人々を温かく見守れるような環境を整えることも必要に感じる</p>                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>やれないやりたくないではなくやってみたいことを探させる</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>行政が、どこまでプライベートに、踏み込むかの問題だと思う。また、不登校は、集団生活の無い通信教育などが有ればベストだと思う。しかし、優先順位をしっかりと付け活動して欲しい。人口減少だから、子育て支援・老人健康対策を確実に実践して下さい。色々、将来の貯金をして欲しい。種の蒔きどころが肝心。</p>                                                                                                                |
| <p>ある意味発達障害の一部だと思う。発達障害は、悪い意味で捉えて欲しくなく、その人その人の特性を知ることが大切だと思う。生きづらさを、どれだけ理解してあげられるかが、ポイントだと思う。</p>                                                                                                                                                                      |
| <p>個別でどう対応すべきか違いすぎるし、長期間の専属とも言える対応が求められるので行政ではケアすべきとは思わない。</p>                                                                                                                                                                                                         |

|                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 性同一性障害や発達障害といった原因が特定できた場合のケアは社会が受け入れ始めているので、原因を究明して対応する必要があると思います。それについては医療機関の診断が必要となるので、行政としては相談窓口を開設して医師やカウンセラーの紹介する程度でよいのではないかと思います。                                                                                              |
| 安城市のような田舎の価値観のあるところで、引きこもりなどの問題解決に行政がかかわろうとしても、世間体があって思うほど相談してこない利用率の低いシステムになるのではないかと。あるいは一部の人のためだけの対応システムになるのではないのでしょうか。対応窓口を設置して対応していましたという状況を作るためであれば、他にやることもあると思う。                                                               |
| 最近では生涯独身で終わる人が多く、自分が生活していく分には困らないと思うので、嫌な思いをしてまで会社に勤める必要はないと思う。無職であることも本人の自由なので、行政がその事に口出しする権利はないし、しても無駄である。                                                                                                                         |
| 意欲のない人間をムリに助けようとするならそんなことに税金は使わないでほしい。<br>普通に生活している人に税金を還付していくのが、市政としての正しい姿じゃないかと思う。                                                                                                                                                 |
| 引きこもりになる要素の多い現代社会ではどうにもならないことだと思うので致し方ない。<br>例として、ネットゲームで違う自分を簡単に体験でき、そちら側に多くの時間を費やしリアルな生活がさらに悪化する(睡眠不足で出勤または登校できなくなる等)の繰り返しで心も体も壊れていく<br>取り上げるわけにもいかないの自分で気が付くまでは仕方ないと思います。                                                         |
| 進級できないようになったらあっさり行くと思います                                                                                                                                                                                                             |
| どこまで介入するとか、何歳までとか、予算はどれだけとか、専門家は市で調達するのかとか、それらをどう市民の納得できる形で実行するのか などなど クリアにしておくことが多過ぎて判断しかねる。が、放っておくと将来、大きな問題にもなる。                                                                                                                   |
| 身近にそう言った人がいないため、どんな支援が必要なのか、どんな支援ができるのかよくわからない。精神疾患を抱えた人等抱えている困難によって対応も違ってくるし、とりあえずは困難の内容を正確に把握することから始めていかないと、かえって状態を悪くすることもあると思われるため取り組みも難しいと思います。                                                                                  |
| 中学生の不登校生徒をもつ保護者への進路情報が少ないと聞いたので、対応していただきたいです。                                                                                                                                                                                        |
| 無理に登校させたり外に出そうとする必要はないと思うが、なんとなくこもるのではなく、きちんと自分で考えデメリットも分かった上で、引きこもりを選択するように提案すれば良いと思います。                                                                                                                                            |
| 積極的に就労していただくべき。最低賃金云々より、社会復帰を第一に考える。                                                                                                                                                                                                 |
| 価値観が様々な現代で、差し伸べる手が正悪なのか正直わからないです。若者に限らず一般社会に溶け込めず苦勞をしている人達もいる中、個人の問題ではないことも多いように思います。本人は勿論、家族や周囲の意識改革が大事だと思いますが、人間中々変わらないのが実情ではないでしょうか？<br>その為に赤字路線の行政が税金をかけるのもどうかと思いますが、きっかけで立ち直る方が多いなら価値はあるのじゃないか。                                 |
| 将来のことはきっと考えられない状況かもしれませんが、少しずつでもいいので外にでる勇気を持ってほしいです。                                                                                                                                                                                 |
| 社会に出ること、関わることは大切なことだと思います。社会に出ていると楽しいことも増えます。全く同じ考えの人なんていないわけありません。自分らしく前向きに楽しい生活を送って欲しいです。                                                                                                                                          |
| まずは現状把握が大事だと思います。困難者のレベル、人数によって、行政が出せる予算内での対応が変わると思います。                                                                                                                                                                              |
| 自分もつらい状況ではあるが、働いてはいるという段階で若サポを利用し、精神面のサポートを定期的にお願ひできないかと思って尋ねたが、今は仕事をしていて、出られているということで、対象ではないと初回話しを聞いただけで断られてしまった。その後も様々な苦悩を抱えながらも仕事はしなくてはならないと思って、頑張っただけだが、その時は嫌な思いしか残っていない。また、名古屋で事情のある子供の就労、生活の支援をしているが、まだまだ様々な機関には課題が多い印象は受けている。 |
| 今時の子供は過保護に育てられているので少しの事でマイナスに考えてしまうのでまたそこからいじめに発展して引きこもりになると思う                                                                                                                                                                       |
| 基本的には本人の問題ではあるが環境が要因となっているはず。本人や家族が解決できないから現象として表れていると思います。行政の問題としてとらえるのは賛成だが箱物(場所を設けるなど)で解決できる問題ではない。                                                                                                                               |
| 自分の時にこんなものはなかったのだから今の子達は恵まれてますね                                                                                                                                                                                                      |
| 心の病気の方もいるし、自閉症みたいな方がいると思います。とにかくきちんとした大人になることを願います。それが元で、殺人者になることは反対です。本人が自分に勝つことではないのでしょうか？とにかく暖かく見守ることが大切です。フリースクールを考えることも良いと思います。自分の得意分野を育てることも良いかと思っています。                                                                        |
| 社会問題になっている事は認識していました。身近には引きこもりの様な人はいませんが、子供を持つ身としては人事では無く、こういった取り組みがあるのを知って少し安心しました。                                                                                                                                                 |
| 国民年金だけはきちんと払ってほしいです。将来すべて生活保護にゆだねるということがないように。                                                                                                                                                                                       |
| 本人が学歴もなく、病気も持っているのだから働きたくても働けない<br>とか一番苦しんでいるかも知れない、とても難しい。                                                                                                                                                                          |

|                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>まずは家庭の事情の確認からはじめて、支援が必要かどうかはそれぞれの個別案件できめ細かく対応していかなくては解決の糸口がつかめないように感じます。</p>                                                                 |
| <p>学校や職場で協調できない子は大変であるが原因はその学校や職場の上司や同僚のことが多い。一人で能力や資格を取得して独立して生きていく道を選択すればいいと思う。</p>                                                           |
| <p>抱えている要因がそれぞれ異なっていて対応が非常に困難であろうと思う、市の職員の中から担当者を選出するのではなく専門的な勉強や資格を持っている方を選任して支援にあたっていないと中途半端な事になる、どこまでの支援をするのか明確なラインを明示するべきと思う。</p>           |
| <p>心のとはいえ、病気なのだから、医療費は支払うべきである。癌や事故で病院にかかるのと同じである。心の病だけ特別に支援するのはどうかと思う。もし支援するなら、悩み相談にとどめて、リハビリや施設の使用するのは通院と同じであるのだから、専門医を雇い、医療費を支払わせるべきである。</p> |
| <p>他の地域ではどのような対応を取っているのか その人達がどのような場所や人なら心を開いてくれるのかもっと情報の収集をしてみるのもいいかもしれません。それを参考に市で何が出来るのか 考えてみるとか？</p>                                        |
| <p>甘えがあり親本人がだらしない生活をしている生活の見直しが必要である</p>                                                                                                        |
| <p>知人の息子さんが不登校(時々学校に顔を出しているみたい?)で担当の先生?と1回／月程度話し合いをしているが納得できる話し合いでないとのこと。一方的に先生?が物事を押し付けていることが多いみたいです。このようなことを市が把握しているか疑問である。</p>               |
| <p>若いうちに何とかしないと、歳をとってからではどうしようもなくなることを知ってほしい。身内もそれで悩んでいる。</p>                                                                                   |
| <p>現在の制度は、年金未加入者・生活困難者への経済支援があります。家族で解決すべき場合は家族で行い、行政は経済支援ではなく、周囲に問題が発生しないような施策と活動に専念するべきかと考えます。正直、経済支援だけで片づけることには、抵抗があります。</p>                 |